

ひまわり



令和2年8月3日(月)

差別や偏見を許さない



令和2年度「ひまわり No4」(5月4日発行)で、新型コロナウイルス感染症に関わり、十三市民病院の医療従事者への差別や偏見について書きました。それは、決して許されるものではありません。

7月29日、これまで感染者がいなかった岩手県で、初の陽性者が確認されました。その後、感染者の勤務先やネット上には、当事者への差別や中傷が続いています。

この事態を受け、達増(たっそ)岩手県知事は、「(感染者への中傷などは)犯罪行為にあたる場合もある。……」と言及し、対応策も含めた被害者支援の方針について触れました。

感染の第2波が訪れ、感染者は増加の一途をたどっています。感染経路不明の増加から、市中感染の広がりが指摘されています。この事実から、誰もが、いつ感染しても不思議ではない状況です。私は公共交通機関で通勤していますので、今の感染拡大状況を考えると、今まで以上に感染防止に留意しなければならないと感じています。多くの人が、同じような思いで感染拡大防止に努めているのですが、それでも感染してしまうことがあるのが現状です。このような中、私たちが心がけとして、次のことについて共に考えましょう。

今必要なことは、私たちが協力して感染拡大予防をすること。頻繁な手洗い・マスクの着用・3密(密閉・密集・密接)を避ける、このような取組を継続することが大切です。また、私たちが立ち向かうべきものは、「新型コロナウイルス」であり、感染してしまった人ではありません。もし、あなたが感染し、他者から不当な差別や中傷を受けたとしたら、どのような思いをするでしょうか。人には、もともと「優しさ」「思いやり」といった良い心があります。しかし、「嫉(ねた)み」「怒り」「愛情のない厳しさ」といった悪い心も持っているのです。今こそ、社会の悪い流れに流されず、皆さんの良い心を最大限に働かしていきましょう。

一昨日、とても明るい話題がありました。米ファイザー製薬が新型コロナウイルスワクチンの開発に成功した場合、来年6月末までに6000万人分のワクチンを日本に供給するというものです。ワクチンや特効薬が使える日が来るまで、共に支え合うことのできる私たちでいたいものですね。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

